

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	第1種陸上競技場の屋根と照明について、各ケースによって、周辺に与える影響はどのように異なると考えているか。 屋根は低くしてほしいが、照明柱は困る。できるだけ住民の理解が得られる方法を取ってほしい。	屋根を設置し、屋根先に照明を設置した場合、屋根で光が遮られることから、競技場外部へ光が漏れにくい効果があると考えています。屋根が無い場合は、照明柱が必要となり、離れた場所からも光源が見えると考えています。 地域の生活環境に配慮した施設となるよう、競技場の周囲に樹木を植栽すること、周囲の皆さんの目に優しく、施設を隠すとともに、少しでも施設の高さを低くすることを検討してまいります。
2	各ケースで第1種陸上競技場のメインスタンドの高さは何mか。	イメージ図によると、屋根の一番高いところで約24mです。（高さは試算値です）
3	各ケースで第1種陸上競技場の照明柱の高さは何mか。	イメージ図によると、照明柱の一番高いところで約46mです。（高さは試算値です）
4	第1種陸上競技場について、収容人員が2万人か1万5千人かが決まっていないうだが、現在はどのような状況か。	平成28年3月にJリーグから彦根に2万人の収容人員が必要なのか意見をいただいたことを受け、どの規模が良いかを検討している状況です。
5	国体開催時に、席を仮設するのか。	国体開催時、席の仮設は必要になってくると思いますが、詳細は今後検討してまいります。
6	第3種陸上競技場にも照明を付ける予定か。	他府県の事例も参考にしながら、照明設置について検討してまいります。
7	野球場のナイター利用について、協定等があるのか。 報道で、周辺地域に悪い印象を与えることのないようにしてほしい。	地元の皆様と彦根市の間で覚書があり、その中に、薄暮対応で点灯させていただくというものがありません。 先日、県スポーツ課長が、地元自治会とお話させていただき、今後、改めてご協議させていただきたいと考えています。
8	雨水排水は、大黒川に排水するのか、旧港湾に排水するのか。	現況を踏まえ関係部局と協議の上、検討してまいります。
9	第3種陸上競技場南側に東西に通じている、グリーンハイツから第3種陸上競技場や近江高校や城北小学校への道は通れるのか。	公園に取り込み、替わりに自転車と歩行者用の通路を設置するよう検討しています。現在、野球場の東側から出入りしていただいている機能や、近江高校の学生が通学されている通路は残すよう検討しています。 歩行者と自転車が通行する部分については、終日開け、例えば早朝に走ったり歩いたりできるよう検討しています。 車が通り抜けることは想定していません。
10	近江高校の東側の道はどこが管理する計画か。	土地改良区など関係機関と協議をしてまいります。
11	大洞川と公園（第3種陸上競技場の駐車場）の間の道について、県が整備、管理してほしい。	大洞川沿いの道路は、今後関係機関と協議しますが、堤防管理用道路の意味合いもあることから、公園として取り込むことは予定していません。
12	公園への出入り口などの内容が分かるような説明会は、いつ頃を予定しているのか。	この9月末に取りまとめる公園の基本設計において、出入口等についても検討しており、まとまった段階でご説明してまいります。
13	施設の種類や配置について、住民の意見を聞いてもらうことは可能か。	施設の種類や配置は、平成27年8月の公園整備基本計画で決定しています。
14	施設整備はお金がかかり、将来子ども達の負担になる。整備内容を住民に示し、子ども達の負担を減らすよう検討してほしい。	国体主会場の整備費は180億円から200億円程度と見込んでおり、国体開催準備委員会の、滋賀の未来に負担を残さない国体という開催基本方針の中の実施目標のもと、後世に負担を残さないとの考えで進めてまいります。

質疑応答の概要

滋賀県からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
15	駐車場は1,100台で足りるという認識か。県として、金亀公園を駐車場にするという考えはないのか。	駐車場の台数は、公園整備にあたり、国の調査に基づいて平均的な水準の台数で定めております。 現在、野球場利用時には、多目的広場を駐車場に転用し、常設分と合わせて約1,100台分を確保しており、ほぼ同数です。 国体の開催時に金亀公園を一時的に駐車場として使用することも考えられますが、金亀公園は市立の公園であり、県が駐車場として整備することはありません。
16	交通量調査の結果を踏まえて、今の公園計画を変更する可能性はあるのか。	交通量の調査結果や予測による公園の計画の変更は、予定していません。
17	交通量調査の結果、何か対策は考えているのか。 多数の来場者が見込まれる場合は、県が管理する彦根港の利用も含めて駐車場を確保するような方策を考えてほしい。	今後、警察や道路管理者等と協議し、対策を検討してまいります。
18	工事用車両の出入り、建設機械の騒音や振動はどのように考えているか。 市道が良くなり、日常の競技を第3種でやると、北側からの出入りばかりになると思うので、現段階から予測して対策を考えてほしい。	工事計画は今後の設計で検討しますが、工事の際は基本的に県道4車線道路からの出入りを想定しています。 工事中の騒音振動は、周辺の現状を調査、予測し、それを踏まえて設計を進めています。 周辺の住環境等に極力影響がない形で検討してまいります。
19	湖周道路の鍵型部分（馬場2丁目交差点付近）を改修する計画はないのか。	国体後の交通量予測や対策を考える中で、道路管理者と長期的な対策、短期的な対策を検討してまいります。
20	国体開催時は異常な量の車の進入が予測されるが、それに対する安全対策はどう考えるのか。	他府県の事例では輸送計画を作っており、大会の4年程度前から検討します。計画策定後は、住民の皆様に説明させていただきます。
21	渋滞対策をきちんとしてほしい。	県では都市計画道路原松原線の計画を進めており、彦根市等の事業については市から説明します。
22	市民体育センターを解体するのはいつか。	平成30年度から解体に着手するよう関係機関と協議を進めているところです。
23	プール、陸上競技場、市民体育センターを使えない期間の代替措置を計画しているのか。	施設の解体を部分的に時期をずらして行うことで、残りの施設を使用できるよう検討していますが、安全確保ができれば、競技力向上の観点からも、他の施設での対応を検討してまいります。
24	ワークショップの募集方法はどのようなものか。また、応募された方はどういう方か。	市広報にチラシを挟み込み、案内しました。また、県のホームページ、しらが、県立大学や滋賀大学等にも案内しました。 参加者の構成は、大学生から壮年の方まで幅広い年代の方です。
25	船町交差点の地下道について、照明が30灯ほど切れている。また、壁が汚れ、照明器具が壊れている。国体に向けて、綺麗にしてほしい。	管理者である県の湖東土木事務所に伝えます。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 （説明会での回答要旨）
1	市道の法線は決定事項か。大黒川の法線もずらすのか。	平面的な線形はこれで進めさせていただきたいと考えています。大黒川の構造については現在検討中ですが、道路の法線にあわせるので、ずれてくる形になると思っています。
2	市道について、マンション付近T字路から北向きの農道を拡幅し、市道認定してほしい。	北側への道路整備は現段階では予定しておりません。 必要な安全対策等については、農道管理者と協議を進めながら、極力安全な形になるように検討してまいります。
3	マンション付近T字路について、市道部は整備し、農道部は整備しないということは、変則T字路になるように思うが、信号設置や一旦停止は予定しているか。	南北方向について、農道部の幅員は狭くなりますが、線形として整合が取れるように設計いたしました。信号や一旦停止は、警察が必要に応じて設置いたしますが、今後、関係機関と協議してまいります。
4	市道を城北小学校や近江高校前から湖岸道路まで整備する計画はなぜ無くなったのか。	当初は、近江高校前の道路について、湖岸道路まで計画しておりましたが、交通量の増加による安全の確保や農地の分断等の課題があることから、公園の外周部分について整備することにいたしました。
5	植樹帯を設置することにより、歩道幅員が狭くなる箇所を作らないでほしい。	植樹帯の検討には至っておりませんが、有効幅員が取れ、かつ連続的になるよう検討してまいります。
6	自転車と歩行者の通行帯を明確に区分けしてほしい。	警察と協議しながら検討してまいります。
7	市道について、現道の歩道は拡幅するのか。 また、近江高校周辺の縦断勾配がきついが、どういった計画か。	歩道も両側4mに拡幅いたします。 道路の高さは、今後検討してまいります。彦根米原線や住宅など周辺の高さに合わせて必要があり、現況と大きく変わることは無いと考えています。近江高校付近はきつい下り勾配ですので、現況高さを上げ、今よりも緩やかな勾配となるよう計画しています。
8	マンション前の道は南側に広がるのか。 現在、南にある駐車場が無くなるのなら、確保してあげてほしい。周辺住民としては駐車場が無くなった車が不法駐車することは困る。	南側に拡幅いたします。 マンション、駐車場については、まずは土地所有者とお話をさせて頂き、その後関係者との協議を進めてまいります。
9	大黒川河口沿い市道取付け部の幅員が狭いのではないか。	道路幅は5mで、普通車の対向ができるよう計画しています。今後、詳細設計の中で通行に支障が無いように検討してまいります。
10	大黒川河口沿い市道取付け部について、中型車以上の通行も検討しているか。	道路幅5mで、普通車は対向できますが、入りやすさや、安全を検討してまいります。
11	広域的な道路整備を示し、資料として配布してほしい。	彦根市が進めている立花船町線、彦根駅大藪線、県が進めている原松原線の3路線の完成で、ある程度、既存の交通の流れが変わってくると考えています。 また、彦根駅前のバリアフリー化の工事を彦根市にて進めています。 彦根市全体の都市計画図はそれらの路線が入っていますので、その図面を配布することは可能です。

質疑応答の概要

彦根市からの回答

番号	意見・情報等（概要）	意見・情報等に対する考え方 (説明会での回答要旨)
12	渋滞対策をきちんとしてほしい。	彦根市は、立花船町線、彦根駅大藪線を進めています。 県では原松原線を進めていただいております、国では国道8号バイパス9工区を進めていただいております。 道路網の整備について、市で計画できる部分は順次進めてまいります。
13	金亀公園の整備計画は。	再整備の基本計画について、検討委員会等で検討を進めているところです。 予算の平準化や、国体会場の補助的な役割を担うことを踏まえ、全体的な構想を策定した上で、国体以後も整備を進める計画です。検討委員会の結果はホームページでも公表してまいります。
14	金亀公園について、基本計画が出てから説明を受けても計画を変更できないのではないかと。 施設が無くなり、駐車場になることを心配している。	基本設計に入った段階で意見を伺い、お聞きできる部分は反映いたします。 現段階で、今の機能を重視しながら検討しており、国体開催時に一時的に駐車場として使用することも考えられますが、現段階では、国体開催後に金亀公園が駐車場ばかりになることはございません。
15	金亀公園の整備について、図書館や弓道場が無くなるなどの推測が出ているが、どういう予定か。弓道場の跡地が駐車場になるということは無いか。	金亀公園の再整備にあたり、現在の弓道場が手狭であり、新たな体育センターへ移設するという方向で検討しています。図書館については、特に決まっていません。 今後の基本計画で施設配置を考えますので、場合によっては弓道場跡地が公園の駐車場になることもございます。
16	松原一丁目は、現在どういう用途地域か。	現在、第1種住居地域です。松原一丁目は今回の用途地域変更の範囲外ですので、都市計画の変更後も用途の変更はありません。
17	新たに風致地区となる地区の周辺で、今回は風致地区に入らない地区でも、今後増改築や建て直して規制がかかることにならないか。	周辺は風致地区にかかりませんので、規制状況は現在と変更ございません。